

文化もスポーツも人生だ！

文スポ

LIFE

「文化」・「スポーツ」は、どちらも人の生活(LIFE)を豊かにするものです。このコーナーは、みなさんが「文化」や「スポーツ」に触れるきっかけとなる情報を提供していきます。 関文化スポーツ推進課 (☎ 82-1115)

かるた COLUMN

何の花？

人はいさ 心も知らず ふるさとは
花ぞ昔の 香にほひける 紀貫之

[現代訳] あなたはどうでしょうか。他の人の心はよく分かりませんが、昔なじみのこの里の梅の花は、昔のままの香りを匂わせていることですよ。

作者は「土佐日記」の著者でもある紀貫之です。この歌に出てくる花は何でしょうか。この歌の詞書(和歌の前に歌の題や歌を詠んだ事情などを述べた短い説明文)によると、「初瀬の長谷寺へお参りに行くと泊まっていた宿を、長い間泊まらないで久しぶりに訪れたら、その宿の主人が『このように宿はありますよ。(あなたは心変わりされて、ずいぶんおいでになられなかったですね。)]と(皮肉を)言ったので、そこに咲いていた梅の枝を折って詠んだ歌」とあります。正解は「梅」です。詞書を知らなくても、昔から生えている香りのする花を想像したら、梅にたどり着くかもしれません。百人一首で梅がでてくる歌はこの歌だけです。今も昔も変わらない梅の香り。二人の心も変わらず昔のままだったかもしれませんね。宿の主人は女性かな？ 山陽小野田かるた協会 時吉 陽子



文化 REPORT

2月6日にきららガラス未来館で「第9回ガラススタンプを使った年賀状コンクール2022」の表彰式が行われました。このコンクールは、毎年同館と市内郵便局がコラボレーション企画として開催しているイベントで、応募者自らがガラスで作ったスタンプを用いて、オリジナルの年賀状をデザインするというもの。コンクールに応募のあった37点の中から鳥井悠冬さんの作品がみごと大賞に選ばれました！



☎きららガラス未来館 (☎ 88-0064)



レノファ山口 FC を応援しよう！

いよいよ新シーズンが開幕！

2月19日に開幕した明治安田生命J2リーグ！昨年の途中から指揮を執る名塚監督のもと、攻守にアグレッシブなプレーで私たちを楽しませてくれることを期待して、みなさんでレノファ山口FCを応援しましょう！



RENOFA
YAMAGUCHI FC
名塚 善寛 監督
Yoshihiro Natsuka

[Profile] 1969年10月7日生まれ(52歳)。出身地：千葉県。主な経歴／選手：フジタ工業～ベルマーレ平塚～コンサドーレ札幌、代表：1992年バルセロナ五輪日本代表、1994年～1995年日本代表、指導者：2013年～2017年コンサドーレ札幌(現・北海道コンサドーレ札幌)コーチ、2018年～2021年レノファ山口FCヘッドコーチ



新シーズン開幕前に名塚監督に 意気込みを聞いてきました

「監督が目指すサッカーのスタイルは？」

プロチームとしてはサポーター・観客を感動させるプレーをしないといけない。攻守で自分たちから積極的に仕掛けていくサッカーを目指す。

「レノファのサッカーをどう見ているか？」

レノファに来る前から見ていて攻撃的なサッカーをしていると感じていた。躍動感のあるサッカーがレノファのスタイルと思っている。

「今シーズン選手に求めることは？」

個人個人が成長すること。試合に勝つために試合中だけでなく練習や生活から考える力をつけてもらいたい。練習では、プレーの細部まで突き詰めて、選手同士でよいコミュニケーションをとることでチーム力を上げていきたい。

「山陽小野田市民・サポーターに一言」

みなさんに応援してもらえるプレー・サッカーをしていきます。ぜひスタジアムで観戦してください！※インタビューの詳細は、市ホームページで紹介しています。